

会 議 録

1 会議名

平成27年度 第1回頸城区地域協議会

2 議題（公開）

協議

協議事項

○平成27年度頸城区地域活動支援事業について

（提案事業プレゼンテーション）

その他

3 開催日時

平成27年4月30日（木）午後1時30分から午後3時44分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：井部辰男（会長）、高橋勇（副会長）、磯貝雄一、井部洵子、今井一郎、

上村閨一、小田武彦、笠原昇治、佐野喜治、関川正平、高木とき子、

西條春一、橋本博太、樋口美登里、水澤伊一、横山一雄

（委員18人中16人出席）

・事務局：頸城区総合事務所 布施所長、関次長、石川市民生活・福祉グループ長、

総務・地域振興グループ渡邊班長、藤澤班長、飯田班長、村山主任、

柳主事（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【関次長】

・会議の開催を宣言

・人事異動による職員の紹介

(各職員による自己紹介)

【井部会長】

- ・挨拶

【関次長】

- ・春日委員、芳賀委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：井部洵子委員、今井委員に依頼

【井部会長】

協議事項「平成27年度頸城区地域活動支援事業について」の募集状況を報告し、プレゼンテーションの実施方法について事務局に説明を求める。

【藤澤班長】

資料「平成27年度地域活動支援事業受付状況」の順番により、提案団体によるプレゼンテーションを1件7分、質疑応答5分とする。

提案事業ごとに委員が利害関係者である等の理由で審査を辞退する場合は申し出る。プレゼンテーションは基本的に提出書類を基に実施する。

【井部会長】

- ・事務局の説明について質疑を求めるがなし
- ・No.1「頸城区のまちづくり情報発信力向上事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（井部辰男委員、橋本委員 退席）

【高橋副会長】

提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（NPO法人くびき振興会）

昨年度、高速デジタル印刷機買い取りとして提案した内容であるが、事業費が膨らんだため、リース契約に切り替えて提案したものである。昨年度100万円の助成を受け、まちづくり通信、頸城の祭典チラシなどの印刷で画質・コスト・納期が格段に改善した。

一般向けに印刷機を開放し、多くの団体、個人に利用された。印刷機の利用頻度が上がり地域に貢献しているため、今年も引き続きリース契約したい。

【高橋副会長】

委員に質疑等を求める。

【高橋副会長】

リースは一般的に5年だが、5年後にはどうするのか。

【提案団体】（NPO法人くびき振興会）

来年度を含めて3年のリースとなっている。その後は、再リースでリース料金が10分の1になるため、大きな負担が無くなり、機械が使える間はずっと使う。

【高橋副会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了

【井部会長】

- ・No.2「ホタル水路整備事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（委員の退席なし）
- ・提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（島田町内会）

旧頸城村当時に整備された「ホタル水路」が放置され、荒れ放題の状況となっている。周辺環境への影響や子どもたちの事故などの心配があることから、事業を実施し、周辺美化と地域住民の親睦や憩いの場所としたい。また、ホタルを増殖することにより、子どもたちの自然とのふれあいの場として活用したい。

周辺美化と地域住民の親睦や憩いの場として事業に取り組むものであり、頸城区採択方針の「景観形成・生活環境の向上」の項目に該当すると考える。また、ホタルの飼育を通して、子どもたちの自然とのふれあいの場としても活用することで青少年育成に寄与すると考える。

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【高木委員】

このベンチは何年くらい経ってこうなったのか。手を付けなかったのか。

【提案団体】（島田町内会）

今まで全く手を付けていない。ベンチが腐りかけていることに気付いていたが、修繕することは見送ったまま今日に至った。

【高木委員】

最初にこのベンチを作ったのはいつか。

【提案団体】（島田町内会）

ホタル水路を整備したのは昭和だが、何年かまでは確認していない。

【高木委員】

もし整備しても、またこのようになってしまうことが心配であるので質問した。

【提案団体】（島田町内会）

定期的に現状の確認作業をし、腐食しないよう修繕していく心づもりで進めていきたい。

【笠原委員】

放置状態であれば、せっかくお金をかけて整備した意味がない。イベントをやっている話しも聞いていない。趣旨に沿ったイベントや、地元の人たちの管理をきちんとやってもらうよう確認していただきたい。

【提案団体】（島田町内会）

イベント化するつもりでいる。管理も継続していきたいと思っている。

【西條委員】

現在ホタルは出るのか。また、今回から継続してホタルの増殖を目指すのか。

【提案団体】（島田町内会）

数年前から住民を集めてホタルの生態系の勉強会を実施している。昨年からは飼育にも力を入れており、幼虫からサナギ、成長した過程で放流するまでを実施することにした。専門家に指導を仰ぎながら、飼育者の育成にも力を入れていきたい。

【今井委員】

合併して10年が経つが、少しはきれいになった。水が少ししか流れていないので、ホタルが住める環境であるのか心配である。一生懸命やっていただき、玄僧のようになってくれれば最高だと思うので期待する。

【提案団体】（島田町内会）

徐々にホタルの生息数も増えている状況である。

【井部会長】

- ・時間になったので審査を終了
- ・No.3「頸城地区児童・生徒すこやか育成事業」について審査を開始

- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める（委員の退席なし）
- ・ 提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（頸城子ども会連絡協議会）

頸城区内の3つの小学校で活動しているそれぞれの子ども会から連絡協議会に加入していただき、子ども会の横の活動を主に行っている。大きな行事は妙高自然の家で1泊2日の研修とスポーツ大会の2つであり、小学校時代から一緒に活動することで、中学校に入学したときにスムーズに中学校生活に入っていくことができる。不登校、引きこもりにならないことに寄与する。

中学生になるとジュニアリーダーとなり、小学生と一緒に活動してもらおう。

太鼓を2台購入し、研修会等のメリハリをつけることと、スポーツ大会の応援合戦に使いたい。将来的には区内のイベントで披露することで、来場者の増加につながればよいと思っている。

太鼓は大養小学校で保管し、そこで練習も可能である。

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【小田委員】

太鼓の購入、ジュニアリーダー研修会、スポーツ大会は別々の事業であり、3つの申請としなければならないのではないかと。後で事務局の見解を求める。

太鼓は技量がいる。雁金会とどのように連携を取るのか。指導してもらうのか。今後子どもたちを継続的に太鼓で育てていくというのであれば、明確な組織がないといけないと思う。子ども会の会長は毎年代わるので、そのような人たちが指導するのは無理だと思う。長期的なものを作っていただきたい。他の区のように子どもから高齢者までひとつの太鼓をやるような、そういう文化を頸城でも作っていただければ大変ありがたい。

【提案団体】（頸城子ども会連絡協議会）

明治地区の子ども会では、雁金会ではない他のクラブに入って練習をしている方がいるが、その人は子ども会会長を辞めても継続して指導してくれるようだ。雁金会としても応援したいということなので、雁金会の太鼓と子ども会の太鼓とコラボレーションして発表会をできればよいと思っている。

太鼓を引継いでいくことで、協議会もより一層活発になると思っている。

【藤澤班長】

事務局の見解は、採択方針である「教育・文化・スポーツ活動の振興」のうち「青少年育成事業」を主眼とした連絡協議会の一連の活動として判断した。太鼓を購入しているから事業を別にするとということではなく、活動として一体であるかを事務局として判断した。

【井部会長】

見解等については、この後の地域協議会全員協議会で論議することとする。

委員に質疑等を求める。

【横山委員】

頸城区内の3小学校区とは連絡を取ったうえでこの事業を提案しているか。

【提案団体】（頸城子ども会連絡協議会）

子ども会の理事が出席した4月11日の総会で説明をした。

【関川委員】

リーダー研修など、3小学校区の過去の参加比率の実績はどうか。

【提案団体】（頸城子ども会連絡協議会）

比率まで計算していないが、およそ80名から90名の子どもが参加している。そのうち一番多いのが大養と南川である。明治は児童数が少ないので、参加数も若干少ない。通年、平均的に各小学校から参加していただいている。

【関川委員】

頸城区という位置付けで検討されているので、各地域のバランスがとれるような方向に持っていかないと、一方的になってしまう心配がある。よろしくお願ひしたい。

【井部会長】

- ・ 時間になったので審査を終了し、提案団体に退席を求める
- ・ 一時休憩

～ 休憩 ～

【井部会長】

- ・ No.4「頸城地区『青少年野球』支援事業」について審査を開始
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める（委員の退席なし）
- ・ 提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（頸城中学校野球部保護者会）

昨年度事業不採択となった理由として、他の部活動やスポーツ団体との公平性から頸城中学校だけに支援するのは難しいということだったので、消耗品は各自の保護者や保護者会で費用を捻出する。ピッチングマシンは、高額であり、個人ではなくチームとして使用するものであることから、今年度改めて申請した。ピッチングマシンは長期にわたり使用するものであるため、野球部に入部する生徒が継続的に恩恵を受けられると考える。中学生だけでなく、頸城スポーツ少年団と共同利用することで地域貢献を考えている。

もともとあったピッチングマシンは古くなり危険であるため、安全性と利便性を考慮し、新たに購入する必要があると判断している。野球部保護者会が組織として継続的に維持管理していくので、実現性が高く継続的な事業になる。

子どもたちは目標を持って練習しているので、マシンがあることで非常に練習効果が高くなる。ジュニア、社会人のチームと合同練習もしているため、頸城全体で野球が発展し、活力のある頸城区になればよいと思っている。昨年度、直江津中学校や関根学園の野球部が活躍し、それに伴って他の部活動も活性化されたと聞いている。子どもたちの夢が広がると思うので事業採択をお願いしたい。

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【上村委員】

近年3年間の野球部員数はどれくらいか。

【提案団体】（頸城中学校野球部保護者会）

現在の高校1年生が11名、中学3年生が9名、中学2年生が10名、中学1年生が3名で、幼年野球は現在20名くらいとなっている。

【西條委員】

中学校までは軟式球だが、硬式球でも使用できるのか。以前の資料に硬式テニスボールの記載があったがこれも使用できるのか。

【提案団体】（頸城中学校野球部保護者会）

軟式球しか使用できない。その機械は別の機械である。

【井部会長】

・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了

- ・ No.5「冬期区民スポーツ大会開催事業」について審査を開始
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める（委員の退席なし）
- ・ 提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（頸城体育協会）

冬期の運動不足解消、地域・世代間交流、ニュースポーツの普及推進を目的とする。
健康増進、青少年の健全育成、明るく豊かな地域社会の形成が期待できる。

頸城区採択方針の「スポーツ活動の振興」、「健康・福祉の充実」に該当するものと考え提案する。

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【笠原委員】

資料において、参加者数の整合性が取れていない。

【提案団体】（頸城体育協会）

修正する。

【井部会長】

- ・ 委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・ No.6「健康増進事業（ファミリーウォーキングとレクリエーション）」について審査を開始
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める（委員の退席なし）
- ・ 提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

ファミリーウォーキングを通して、世代間交流、心身の健康増進を図ることを目的とする。また、地域の環境と観光資源について認識を深め、地域振興に貢献する。

頸城区採択方針の「スポーツ振興事業」、「健康・福祉の充実」に該当するものと考え提案する。

【井部会長】

- ・ 委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・ 一時休憩

～ 休憩 ～

【井部会長】

- ・ 審査の順番を変更し、No.9「機関庫内暗渠排水工事事業」について審査を開始
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める（笠原委員、樋口委員 退席）
- ・ 提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

降雨によりコッペル転車台のレールが水浸しになってしまい腐食する状況を解決するために提案する。地域おこしのためにも、コッペル転車台の腐食を防ぎたいと考えている。

排水管の敷設と柵の設置により、集めた水をポンプで排水する方法としたい。

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【関川委員】

溜め柵に油が浮くことはないのか。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

出てくる水に油、汚水が混ざっている可能性はある。すぐそばに排水管があるが、古くてよく流れていないことが原因である。水中ポンプは酸には弱いですが油には強い。

【関川委員】

設備が油に強いかわ弱いかではなく、排出先に油分の混ざった水を流すのは問題だということである。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

転車台に出る水に油はない。

【関川委員】

転車台に油をさしていないのか。油の心配はいらぬのか。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

水のみで油はさしていない。油の心配はいらぬ。

【今井委員】

溜め柵から排水を汲みあげて排水はどこへいくのか。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

軽便鉄道の南側に柵がある。排水が中部線の下をくぐって、百間町の溜め柵の横を通って排水路のほうへ行くようになっている。

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.7「地域の健康づくり・スポーツ情報発信事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（委員の退席なし）
- ・提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

パソコンやスマートフォンで閲覧可能なホームページを作成することで、スポーツ情報の発信を可能にしたい。また、環境にも配慮した情報発信が可能となる。

スポーツの機会提供や活動報告を広く周知し、健康増進と運動意識啓発を図ることは、頸城区採択方針の「スポーツ振興事業」、「健康・福祉の充実」に該当するものと考え提案する。

現在はブログページで周知しているが、写真、スライド、動画、SNSを活用したものに整備する。また、ホームページを活用して住民の健康増進のニーズを把握することや事業展開の参考にしたい。

ホームページは専門業者により作成する。サイト更新ツールを組み込み、作成後は更新作業を自分たちで行う。

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【佐野委員】

長年更新されていないホームページをよく見かけるが、継続的に更新していけるのか確認したい。

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

現在やっているブログは一方的な発信となっているが、双方向性のあるSNSを取り入れることで利用者側からの発信も可能になり、活発になるような仕掛けづくりをしていきたい。

【佐野委員】

長期的に力を注いでいただきたい。

【小田委員】

さまざまな世代の人がいるので、紙媒体でないと情報を得られない人が出てくる。このような効果はないのではないかと。具体的に削減する計画があるのか。

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

以前の地域協議会でも要望したが、イベント情報などは、全戸配布できないことになってる。全世帯で約 2980 世帯だが、新聞は 2500 世帯くらいしか購読がないということで、その空きを埋めていきたいと考えている。

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.8「雁金城跡及び周辺の史跡保存、整備併せ会員の知識の向上の事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（委員の退席なし）
- ・提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（雁金城跡保存会）

頸城区観光協会の設立に伴うパンフレットの作成を行う。

これまでは狼煙台の周辺を中心に整備してきたが、今年度から本丸城跡の立木伐採整備に取りかかる。

狼煙台までの最後の階段が完成していないので整備を進める。整備を進め、やっと地域の方が登れるようになったが、休憩するところがなく、ベンチ設置の強い要望があるので新設する。

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.10「頸城区を吹奏楽の演奏で活気づける事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（高橋委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（頸城中学校後援会）

頸城中学校吹奏楽部の支援を通して子どもの健全育成を図り、住民を吹奏楽の演奏で元気にすることを目的とする。区内イベント等に出演することで世代を超えた交流を促し、地域の活性化を図る事業であり、頸城区採択方針の「地域特性を活かしたまちづくり」、「教育・文化・スポーツ振興」に該当するものである。

事業の実施方法は、楽器の購入、頸城中学校吹奏楽部への貸し出し、頸城の祭典や各小学校の文化祭、校内音楽祭、親子なかよし教室への出演である。頸城の祭典開催日は毎年、県の音楽コンクールと日程が重なっているが、頸城の祭典を優先して出演

している。

部員数の増加による楽器の不足は大瀧小学校等からの借用により補っているが、それでも不足しており、生徒にパーカッションへまわってもらっている現状であるため今回提案した。

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【西條委員】

楽器は頸城中学校後援会が所有し、吹奏楽部に貸し出すという考えでよいか。

昨年度の提案は不採択となり地域活動支援事業の残額を充てたと思うが、どのようなものを購入したのか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

貸し出すという考えでよい。

昨年度はトランペット1台、フルート1台を購入した。所有は後援会で、貸し出しにより使用している。

【小田委員】

楽器の不足状況が分からない。今回の購入によりどのような状況になるのか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

資料の備考欄に記載してあるのは、楽器の借用数や直せない楽器の数になっている。現有数はクラリネット3台、フルート1台、トランペット5台である。トランペットの人数は7人になっているが、これはコルネットという小さい楽器でありトランペットで揃えたいので購入したい。

【小田委員】

トランペットは生徒が7人、現有数が5台で、1台購入しても不足ではないか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

その通りであるがこれは昨年度の部員数なので、今年度の入部状況によって多少変わる。不足であってもトランペットは1台欲しいという顧問の希望である。

【横山委員】

吹奏楽の大会に出場せずに頸城の祭典に出演するということだが、本来の趣旨であれば部活動の大会を優先するべきではないかと考える。地域に貢献することもよいことなので、頑張ってもらいたい。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

大会に出場しないのではない。頸城の祭典の日は、大会では50人以上の大編成の部の日程となっている。頸城中学校は大編成の部で出場できる人数がいて、小編成の部と比べて県大会に進みやすいのだが、あえて小編成の部に挑戦して県大会を勝ち取っている。それほど、頸城の祭典に出ることを優先しているということにご理解いただきたい。

【井部会長】

- ・時間になったので審査を終了
- ・全ての提案団体からのプレゼンテーションを終了
- ・その他について事務局に求める

【関次長】

- ・次回の協議会：5月中旬

【井部会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線 212）

E-mail：kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。